

## 会員訪問

### 藤本康男会員（札幌東支部）

# 経営をトータルにサポートするビジネスドクター 北海道経済を元気に！

今回は、札幌市北区あいの里で事務所開業されている藤本康男会員にお話を伺いました。ご存じのとおり札幌東支部の支部長でありながら、若手税理士とも気さくに交流し、熱意ある指導をしてくださる藤本会員にその熱い思いを聞くべく、お忙しい中、取材にご協力いただきました。

#### 税理士を志すきっかけ

藤本会員は、北海道の大学を卒業後、キヤノン株式会社に入社され経理部に配属になったことにより、工場での原価管理や予算管理などに携わり、原価計算や現場改善活動、生産管理の基本を習得した後、本社における予算管理や、パナマなどの海外勤務をご経験されました。

もともとは、数字に関して特に興味はなかったのですが、色々な部署の人達と触れ合って実務をやるにつれて、会社の全てのプロセスが数字に表れていることが面白いと感じるようになりました。その後より直接的に社会に貢献したいという思いから海外赴任から帰国後に自身が一番やりたいこと、すなわち生涯を通じ社会と積極的に関わることで人間の本质に触れることができる税理士を目指すことになりました。

ところで、阿波踊りをこよなく愛する徳島県出身の藤本会員が、なぜ北海道で税理士事務所を開業することになったのかをお聞きしました。

奥様のご実家が北海道だったことから、北海道を開業の地に選んだところが、お優しいと思いました。

#### TKC 入会

こうして税理士としてあいの里で開業すること

となりましたが、なぜ TKC を選んだのでしょうか。

藤本会員が開業した 2007 年は、世の中が電子申告に変わってきた時代で、TKC 以外のシステムは一気通貫で電子申告まで支援していなかったことや、藤本会員の友人が TKC 会員だったこともあり TKC に興味を持たれたということです。また、故飯塚毅名誉会長の『不撓不屈』を読み、哲学に則った TKC の理念に共感したことも大きな入会のきっかけとなりました。TKC は価格が高いというイメージがあったものの、当時は TKC で借入することができたことも入会の一つの要因となりました。

#### 事務所の方針

大変ご多忙の中、現在も藤本会員自身が現場へ出向き直接納税者の方々と向き合っておられます。その思いをお聞きしました。

藤本会員は、前職で経理を担当していたご経験から、実際に業務プロセスの改善を行い、予算を作り PDCA サイクルを回すという基本的なことを実行するということが非常に大切であるという強い思いを持っておられます。地域経済を活性化することを理念としていることから、中小企業のパートナーとして納税者の中に入り込んで、一つ一つの会社を元気にし、頼りになる存在になるこ



とが喜びであることから、現在も藤本会員自身が直接現場と関わることを大切にしています。

事務所の今後としては、監査と経営改善の役割分担をし、地域経済の活性化という理念を引き継いでくれる後継者を育てることで、納税者の満足とTKCへの貢献に繋がりたいと考えておられます。

### 支部長として

TKCに入会後、現在は札幌東支部の支部長としてご活躍されておりますが、そのようにご多忙の中、支部長を引き受けられたのは、「頼まれた仕事は断らない方がいいよ」という先輩会員からの助言があったことと、何事もめぐり合わせなのでお引き受けしたということです。現在は周りの人達に支えられて、支部長の役割を担うことにより自身も成長できることに感謝しておられます。

### 伝えたいこと

最後に、藤本会員の伝えたい思いを伺いました。



「まず、税理士という職業の存在意義を発揮するには、思考停止をしてはいけません。自分の頭で考え続けることが大切である。たえず自分で考えて発信していくこと。何も言わなければ、何も生まれない。積極的に社会に関わり、時代を紡いでいくこと、これがTKC会員としての使命ではないか」ということでした。

### 取材を終えて

若手会員とも積極的に交流してくれる藤本会員なので、取材中もぎっくばらんに思ったことを質問しましたが、終始一貫して、北海道経済の活性化への貢献と、精神的な自由を求め自身の人生を燃焼して次世代につないでいきたいという熱い思いが伝わってきました。

阿波踊りを踊ったり、矢沢永吉を歌う藤本会員の姿を思い出しました。ちなみに最近好きな歌は矢沢ではありませんが「ホタテのロックンロール」だそうです。さっそく聴いてみたいと思いました。

(広報委員 河村聡子)

